

路傍伝道ネットワーク顧問コラム

弁護士 佐々木 満男(ささき みつお)

「障害を乗り越えて」

1.医療過誤で半身不随に

Kさんは代々1000年続く由緒ある神社の神主の長男として生まれた。長男であるから将来は神主になることが決まっていた。集中して大学の受験勉強をするために蓄膿症の手術をしたが、医療過誤でくも膜下出血を起こし、生涯半身不随で過ごすことになった。

人生に絶望して一時は自殺を考えたが、気を取り直してキリスト教系大学に入学したKさんは、なんとかして生きる意味を見出そうと聖書研究会に入り聖書を学んだ。そしてキリストを信じて永遠の将来への生きる希望を持つことができた。聖書研究会を通じて教会に通うようになり、その教会の牧師の娘と結婚することになった。なんと彼女の家系は代々牧師だった。大学卒業後は会社に勤務し、クリスチャンであることから、神主になることを断った。

2.息子が不良から牧師へ

Kさん夫婦の一人息子は、幼少の頃から教会に通っていたが、中学生の頃から悪い仲間に入り不良になってしまった。親が真面目過ぎて厳しく育てられたことへの反発や、教会に行っていることによって学校で生徒たちにいじめられたことが原因だった。教会から足が遠退いた息子は、18歳まで粋がって不良の道を歩んでいたところ、ある時やくざの家で覚せい剤を打たれそうになり、



その場から逃げたことから、後日監禁され、半殺しの目に会った。命からがら逃げ出したが、息子はそのことで心身がボロボロになり、神に救いを求め、教会に戻りクリスチャンになって、牧師の道を歩むようになった。その背後には、息子の更生のためにKさん夫婦の必死の祈りがあった。

3.保証債務を払い続けて

息子が神学校で学んでいる時に、Kさんはさらなる不幸に見舞われた。遠い親戚に頼まれて連帯保証人になったが、その親戚が倒産して莫大な金額の保証債務を負うことになったのだ。その契約には問題があり、本当は法的な支払義務はなかった。しかし、責任感の強いKさんは道義上の支払義務を認めて一文無しになり、その後何十年も残りの債務を払い続けている。

けれども、かつて不良だった息子は神学校卒業後に女性宣教師と結婚して4人の子供に恵まれた。牧師になった息子は伝道熱心、奉仕熱心で家と教会を空けることが多いため、Kさん夫婦は喜んで孫たちの面倒を見ながら息子の教会で奉仕し、家と教会を支えている。

また、Kさんの家系にはクリスチャンは一人もいなかったが、Kさんの厚い信仰と誠実で正直な生きざまに感動した親戚のほとんどがキリストを信じて救われた。知人も何人もクリスチャンになっている。



献金をお願い

路傍伝道ネットワークの活動のために献金をお願い致します

ゆうちょ銀行 記号00100 番号72587221 口座名 路傍伝道ネットワーク
郵便振替口座 00100-0-515129 口座名 路傍伝道ネットワーク

編集後記

11月3日にアメリカ大統領選挙が行われました。争点は「共和党VS民主党」や「トランプVSバイデン」から「正義VS闇」の戦いに移行しました。私たちクリスチャンは、このような不正が明らかになっても驚くには及びません。終末が近づいている今、政治論争ではなく、目を覚まして祈り、福音伝道をしなくてはいいけないと痛感します。今、伝道をしないでいつするのでしょうか。皆さんで心合わせて伝道をしましょう。



菅野直基 YouTube 検索

「菅野直基」のチャンネルに登録して、「路傍伝道」の動画をご覧ください。



参加される方へのお願い

参加する皆様は、純粋に路傍伝道をする為に集まっています。送り出してくださる教会の信頼の元に行っている活動ですので避けるべきこととして、「ここで知り合った人同士の『お金の貸し借り』『ナンパ』『ビジネスや投資の誘い』『他の集会や教会への勧誘』等の行為」は謹んで頂きたいと思います。自由な集まりですが、最低限の秩序を守る為にこの様なルールを決めさせて頂いています。



路傍伝道新聞 Street Evangelism Journal

路傍伝道新聞 毎月発行 発行元 路傍伝道ネットワーク事務局 代表 菅野直基
〒169-0074 東京都新宿区北新宿3-8-4-2F (新宿福興教会内) TEL&FAX 03-3371-9930 email: sgr_ch@yahoo.co.jp

12
Dec.SDGs+1。
18個目のゴールに向かって力を合わせよう!

路傍伝道ネットワーク代表 菅野 直基

「SDGs」とは、「Sustainable Development Goals」の略で、2001年に策定された「MDGs(ミレニアム開発目標)」の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標のことです。

「SDGs」には「17のゴール」があり、「169のターゲット」から構成されていて、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことがコミットメントです。

さらに「SDGs」は、発展途上国のみならず、先進国自身が取り組む普遍的な内容のものであり、日本でも積極的に取り入れられています。

17のゴールを一つひとつ精査していると、理想的な内容の目標だと痛感します。しかし、明らかに1つ足りません。それは、命の世界に対しての持続可能な目標です。どんなに理想的な世界を作り出せたとしても、地上の人生は死で終わりですし、神がおられなければ理想のゴールがあっても、道半ばにして実現できないと思います。人は自己中心的な存在だからです。イエス・キリストは、その人間を救うために来られました。

「SDGs+1」。つまり18個目のゴールを付け加えたいと思います。「全人類が神を信じ、救われ、永遠の命を得ること」です。その目標達成のために路傍伝道ネットワークは、

年間150回以上路傍伝道を行っています。

聖書は、そのために「教会の中で待っていなさい」とか、「波風を立てずに、スマートな形でキリスト教の宣伝をし、教会に人を集めなさい」とは語っていません。

「イエスは彼らにこう言われた。『全世界に出て行き、すべての造られた者に、福音を宣べ伝えなさい』」(マルコ16:15)とあります。

「教会の中で待っているのではなく、教会の外に出て行って、すべての造られた者に、福音を宣べ伝えなさい」なのです。そして、福音とはインパクトがあるメッセージですので、迫害を伴う内容であり、嫌われることもあります。しかし、福音こそが人を救い、ひいては「SDGs持続可能な17の開発目標」の実現も可能です。

クリスチャンは、大宣教命令の実現を共通の目標として立ち上がらなければなりません。クリスマスは伝道の絶好の機会です。この時期に力を合わせて伝道をしましょう。「一人も減びることなく永遠の命を得る」(ヨハネ3:16参照)という神の壮大な救いのビジョンを一人で実現させられませんが、第一に神と共に働き、第二に私たちが力を合わせれば可能です。まずは1度私たちの伝道に参加してみませんか。あるいは、教会のみなさんと路傍伝道を始めてみませんか。「SDGs+1」の目標こそが急務なのですから。

地獄と天国を味わった

11月2日(月) 17時～19時【第1月曜日定例】『川口駅西口 路傍伝道』

2日前までの3日間、渋谷駅ハチ公広場でハロウィーンに来た人々向けの路傍伝道を行いました。3日間の戦いはあまりにも激しかったので、倒れる寸前でした。

10年くらい前のことですが、渋谷で親しいクリスチャンの仲間と2人でストリートライブをしながら伝道しました。疲れは極みに達して、数日後には喘息の発作が出て数週間入院をしました。命が危険にさらされました。また数年前に、クリスチャンの仲間が渋谷で賛美をしながら街を練り歩いたその数日後、原因不明の下半身麻痺となってしまって、未だに車いす生活をしています。

渋谷の街の人たちは、私たちの伝道に対して反対する人はいませんが、私たちがそこに存在しないかのように黙殺します。全く興味がないという感じです。

数人の若者に渋谷に来た理由を聞くと、「ナンパをしてホテルに行くことです」と話してくれました。渋谷で伝道をしていて

感じることは、一見楽しい雰囲気に見えますが、霊的には神から遠く離れていると言わざるを得ないことです。現代のソドムとゴモラのように神から遠く離れているように感じます。心を痛めると共に、生半可な気持ちで伝道してはいけないと感じます。

渋谷でそのような地獄を味わった後の今日の川口は、音楽もチャリ配りも盛り上がり、天国の前味を体験したように感じました。約20名が1つになって路傍伝道しました。この何日かで地獄と天国の両方を味わったように感じます。

しかしながら結論として言えることは、渋谷も川口もどちらも伝道が必要であることです。時が良くても悪くても、神様が導かれるところに遣わされて伝道し続けたいと思います。



1人の人が救われた！ヘイトスピーチや初詣発祥の地、川崎からリバイバルが始まりますように！

11月3日(火・文化の日) 17時～22時 【荒野の旅】『川崎駅 路傍伝道』

荒野の旅は、集合時間と集合場所だけを決めて、あとは神様からの導きを受けながら行う路傍伝道です。17時に川崎駅の時計台前で集合して、最初に東口の石敢當(いしがんと)の前で伝道しました。小ぢんまりとした薄暗い場所が功を奏し、たくさんの人が立ち止まって聞いてくれたり、チャリを受け取ってくれました。



左側の女性が涙を流してイエス様を受け入れた

参加者は飛び入りの人を含めて9名で、移動するタイミングで2名の人が入りましたが、心機一転、次の北口広場で伝道をしました。ここは明るく屋根が高く広々としている

イエス様を信じて救われました。一緒にお祈りをしながら、言葉を詰まらせ涙を流していました。さらにまた教会を離れていた男性の信仰が回復しました。

ハロウィーンという渋谷が有名ですが、2番目に有名なのがここ川崎だそうで

「カワハロ」と言われるそうです。川崎は駅前の伝道に対しては未開拓ですが、1人の信仰が回復し、1人が救われたというのはとても素晴らしい収穫だと思います。川崎はヘイトス

ピーチ発祥の地であり、川崎大師が初詣発祥の地だそうです。そのような地においてリバイバルが始まりました。さらに爆発的に福音が広がることを願い、定期的に伝道をしたいと願っています。



献品のお願
Request for
Musical instruments donation

郵送先: 169-0074 東京都新宿区北新宿3-8-4 2F
新宿福興教会内 路傍伝道ネットワーク事務局

路上で演奏するために使う**楽器**(ギター、ベース、アコーディオン、キーボード、パーカッション、拡声器)など。

また、広報活動のために、パソコン、タブレット、プロジェクター、車、バイクなど、使わないで眠っているものなどがございましたら、ぜひ路傍伝道のために活用させていただきます。

伝道は人生の最優先事項

11月6日(金) 18時～20時【生放送番組】『第37回 オンライン路傍伝道』

11月1日に行われた大阪都構想に関する住民投票は再否決されました。11月3日にはアメリカの大統領選挙と上下両院選挙が行われました。話題に事欠かない時期ですが、大阪都構想に関しては東京から距離が離れているのと状況が違うので実感としては感じられないですし、否決されたので影響はありません。しかし、アメリカ大統領選挙は結果次第では大きな影響が出ると思います。投票を締め切ってから2～3日が経った時点でも大荒れで決着がついていない状況です。不幸中の幸いは、下院は民主党が過半数を取りましたが、上院では共和党が過半数を維持したことです。クリス

チャンとして共和党のトランプ大統領再選を願う事と、その理由について語りました。7年間の患難時代が近づいていることにも触れ、最終的には「共和党のトランプか民主党のバイデンではなく、天の父なる神の御心になることを願い求めていきましょう」と勧めました。その延長線上で、どんなことも神が良しとされ許されたがゆえに感謝すること。また黄金律に触れて、してもらってうれしいことをし、されて嫌なことをしない選択をすること。聖書が求めていることを実行しようとする生き方に祝福があることを語り、最後には、伝道を人生の最優先事項とすることを以って番組を締めくくりました。

伝道に対して好意的な人が多かった

11月8日(日) 19時～21時【第2日曜日定例】『大久保駅 路傍伝道』

この日の大久保駅路傍伝道は、飛び入り参加者を含めて4名で行いました。たくさんの知り合いや好意を抱いてくれる方々との



その場で聖書を読み始めた

出会いがありました。あっという間に聖書30冊を配り終わり、チャリも100部程度配ることができました。人数の割に力強い伝道ができました。

Facebookライブは路傍伝道で使っているWi-Fiが7ギガを超えて容量オーバーのため低速状態で機能しない上に、他の2名の参加者のテザリング(スマートフォンをモバイルルーターとして使用すること)もうまいかず、ライブ配信をやめて伝道の様子を録画して後でアップロードしました。

伝道後には近くの日高屋で食事をしました。中年の男性2人と30歳くらいのカップルが互いに酒を飲んでいて気持ちが大きくなって喧嘩をはじめました。最終的には収まりましたが、残った中年の男性2人もぼつが悪い感じでした。「若かったら



ぶっ飛ばしているところだった」などと負け惜しみを言っていました。一方、2グループが帰った後には、ミャンマー人のグループが隣の座席に座りました。私たちの路傍伝道をずっと聞いてくれていたようで好意的でした。クリスチャンではないそうですが、聖書をありがたそうにもらってくれました。

初代教会は初期の頃には好意を得ていました。日本でも好意を抱く人が多いのでどんどん福音を伝えたいです。「神を賛美し、すべての民に好意を持たれた。主も毎日救われる人々を仲間に加えてくださった」(使徒の働き2:47)。

路傍伝道の活動の予定を知る方法

Facebookでチェック

路傍伝道の活動予定は「路傍伝道ネットワーク」のグループページを通して告知致します。



最新の予定は、「アナウンス」をクリックすると見ることができます。

Facebook環境をお持ちでない方には、路傍伝道新聞と一緒に予定表を郵送します。
sgr_ch@yahoo.co.jp まで知らせてくださるか、郵便番号・住所・氏名を事務局までお知らせください。

新宿福興教会内 路傍伝道ネットワーク事務局: 169-0074 東京都新宿区北新宿3-8-4 2F



街にいる人たちと1つになれた

11月10日 (火) 17時～19時【埼玉シリーズ】『越谷駅 路傍伝道』

秋も深まり肌寒く感じる季節になりました。しかし心は燃えています。開始早々たくさんの警官が目の前に来て写真を撮っていました。少し遠慮しながら街頭演説をしました。そして政治家っぽい政策的な内容を盛り込みました。「顔が見える。心がつながる住み良い街、越谷。一人一人が越谷を変えていく、新しい街づくり、それはイエス・キリストを信じるところから始まります。新しく生まれ変わらなければ、神の国に入ることはできません。悔い改めて、あなたの造り主に立ち返りましょう。本当の意味で、子育て世代にやさしく、お年寄りも、誰もが安心して暮らせる街、越谷にしていきたいでしょう。越谷にキリストの愛を伝えに来ました」などです。警官を意識したこともあり



写真や動画を撮りながら興味津々



アメリカ大統領選の勝者とコロナ福

11月12日 (金) 18時～20時【オンライン配信】『第38回 オンライン路傍伝道』

歌を交えながら、前半はアメリカ大統領選の行方とアメリカの闇について触れて、「救い」への招きと「教会に来なくなった方がまた戻って来れますように」との招きをしました。後半は「『コロナ禍』の側面だけを見ないで『コロナ福』の側面を見てください」と語りました。



久しぶりの上野伝道に喜びを感じた

11月13日 (金) 14時～15時【特別路傍伝道】『上野駅 路傍伝道』

今年の3月28日 (土) には、上野水上音楽堂 (上野恩賜公園野外ステージ) で「ジャパン・ハーベスト2020大会」を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止になり、代わりに無観客オンラインセミナーを行いました。その直前までは毎週のように上野に行って会場前で祈り、委員会を行い、伝道を行っていましたが、久しぶりに上野に来ることができました。今回は、12月23日 (水) のクリスマス新宿駅路傍伝道のミーティングを上野で行いましたので、上野恩賜公園野外ステージ前で祈り、さらに、上野駅前で路傍伝道をしました。警備員が来て「あっちでやってくれ」

ますが、通行する市民の方々は興味を持ってくれました。

先ほどの警官は、数人で来て15分ほどチラシを配り、そのチラシを配っている姿をスマホで撮影して、あっという間に立ち去っていきました。たぶん警察の広報誌に載せるための写真を撮りに来たのでしょうか。本当に配りたかったら30分はやるだろうと思います。私たちは、写真を撮るためではなく、本気で伝えたいので2時間たっぷり伝道しました。



私たちと街で歩いている人たちが1つになることが何度もあ

りました。その光景を写真に撮れたらと思いますが、それは私たちの心のフィルムに収めたいと思います。最後は伝道の反省会を行い、全員でお祈りをして終わりました。

2時間番組だと深掘りして行くまで語れるかと言うとそうではなく、あっという間に時間が来てしまいます。リアルでの伝道と違ってダイレクトな跳ね返りはありませんが、番組の収録時間はとても楽しく有意義でした。

「こっちでやってくれ」とたらい回しにされましたが、久しぶりの上野に来ることができて喜びで溢れました。



JR 山手線一周路傍伝道

エリコの戦い

そのとき、主はヨシュアに言われた。
「見よ、わたしはエリコとその王と勇士たちをあなたの手に渡す。
あなたたち兵士は皆、町の周りを回りなさい。
町を一周し、それを六日間続けなさい。
七人の祭司は、それぞれ雄羊の角笛を携えて神の箱を先導しなさい。
七日目には、町を七周し、祭司たちは角笛を吹き鳴らしなさい。
彼らが雄羊の角笛を長く吹き鳴らし、その音があなたたちの耳に達したら、民は皆、関の声をあげなさい。」

ヨシュア記 6:2-5

私たち路傍伝道ネットワークはエリコの戦いのように街を一周し、祈りを捧げます。(山手線祈街会は休止中)そして賛美の角笛を携え、街頭で福音を宣べ伝えます。

伝道の2時間があったという間だった

11月16日 (月) 18時～20時【第3月曜日定例】『新宿駅 路傍伝道』



ずっと讃美歌に身を傾けてくれた

今日、全体としてとても平和な雰囲気の中で伝道ができました。しかし、伝道開始前に「お前ら俺の自転車を移動させただろう!?!」と言いがかりをつけて来た方がいました。悪ければ謝るし、何も関係がなければきっぱりと「知りません」と言い切りますが、どちらかわからない状況の中、1人のメンバーがやり



様に祈られます。

途中、2人のクリスチャンの女性が立ち止まって写真を撮り、「今度伝道に参加したい」と言って予定表を持って帰られました。1人のクリスチャンの男性も路傍伝道新聞と予定表を持って帰られました。

もうちょっとでイエス様を信じそうなところまでいった人がいました。確実に福音の種がまきました。その他にも、チラシ配り、音楽や演説での伝道を通して、たくさんの人に伝道することができました。2時間があったという間でした。



イエス様を信じる一歩手前までいった

人生の目的は伝道にこそある

11月19日 (金) 17時～19時【生放送番組】『第39回 オンライン路傍伝道』

冒頭で新型コロナウイルスの第三波襲来について触れました。次に、人を愛することについて深掘りして話しました。人の目に向かって生き

るのではなく、神の眼差しに向かって生きること。そして、終活についてまで話が発展しました。お葬式の弔辞が読まれている光景と、神の前に立った時に神から声をかけていただく光景を思いながら、献身の招きをし、「人生の究極の目的は伝道にある」とお奨めをして番組を締めくくりました。

40回記念番組

11月23日 (月・勤労感謝の日) 18時～20時【生放送番組】『第40回 オンライン路傍伝道』

新型コロナウイルスで自粛要請が出されてからスタートしたオンライン路傍伝道は、40回目を迎えました。たくさんの人が視聴してくださり、有意義な活動でしたが、

とても伝道がしやすかった

11月26日 (木) 17時～19時【山手線シリーズ】『駒込駅 路傍伝道』

この日は、昼夜の寒暖の差がありましたが、とても過ごしやすい気候の中で路傍伝道ができました。

駒込は、新宿や渋谷や池袋などの大きな駅と比べると歩いている人は多くはありませんが、女子学生や若いお母さん、若いサラリーマンなどが多く、伝道がしやすく感じました。立ち止まって音楽を



聞いてくれる方々や聖書やチラシを受け取ってくれる方がたくさんいました。

何人ものクリスチャンが立ち止まってくれました。献金をしてくださったのでこちらからは路傍伝道新聞を手渡しました。一人のカトリックの女性の方は、クリスマスの時期に参加したいと言って、路傍伝道に興味を持たれました。有意義な伝道の時間でした。



熱い伝道の一コマ

2人の方が『教会に行きたい!』と言われました

11月29日(日) 19時～21時【第5日曜日定例】『大久保駅 路傍伝道』

11月としては温かく伝道日和でした。大久保の駅前は軽トラックで柿を売る男性の先客がいました。場所をずらして



歌や演説を行いました。しばらくすると「仏教徒だけで教会に行っても聖書を学びたい」というベトナム人の女性と会いました。さらに立ち止まってくれた女性も

「ぜひ教会に行きたいです」と言われました。次の日曜日は1週間後なので、気が変わらないで



教会にお越しになることを祈ります。たくさんの聖書やチラシを配ることができました。4人で力を合わせて伝道しました。



大宣教命令とキリストの律法を実践しましょう

11月30日(月) 17時～19時【神奈川シリーズ】『横浜駅 路傍伝道』

昼と夜の寒暖の差があるため、路傍伝道をしているうちに寒さが身に沁みました。しかし何人もの人たちが立ち止まり歌や演説を聞き、聖書やチラシを受け



取ってくださったので心が温まりました。

私たちが活動をしている場所は、新型コロナ以前には、毎回エホバの証人の人たちと被って、同じ場所で並んで行っていました。

彼らは一生懸命です。その理由の一つは、ノルマが決まっているからです。一般の信者は月に10時間以上(1日あたり20分)、特別開拓者は月に120時間以上(1日あたり4時間)、開拓者は月に90時間以上(1日あたり3時間)、補助開拓者は月に60時間以上(1日あたり2時間)が義務付けられているそうです。



新型コロナで自粛規制が出て以来、エホバの証人の姿が街角から消えました。ノルマを達成するために、きつと手紙や電話やイ

ンターネットなどを使って別の方法で布教をしていると推察します。

ノルマとして決められているので仕方なくやっている人もいるはずですが、クリスチャンはどうでしょうか。伝道活動にノルマはありません。新型コロナ以前からも伝道をしないう人が数多くいます。伝道をしなくてもイエス様を信じれば神の子であり、罪が赦され、永遠の命を得られるからでしょう。しかし伝道はイエス様の大宣教命令であり、キリストの律法を行うことです。「互いの重荷を負い合い、そのようにしてキリストの律法を全うしなさい」(ガラテヤ6:2)とあります。自分が救われているだけで満足してはいけません。他者の救いのために祈り、伝道に立ち上がりましょう。

私たちの路傍伝道ネットワークは超教派の宣教団体です。弟子訓練と福音伝道の実践を行っています。1人で伝道をするのができなくても、力を合わせて伝道をするなら難しくありません。もしよかったら、路傍伝道ネットワークに参加して一緒にキリストの弟子となり、力を合わせて伝道をしませんか。



ルワンダコーヒー ～おいしいルワンダコーヒーをお届けします～



サンビルダ 土地・建物の売買から賃貸マンション運営・管理まで

サンビルダグループ
新ソニービル
株S.マネージメント
株K.マネージメント

株サンメンテ
株S.マネージメント
株R.マネージメント

株サン・アド
株阪神クリエート
株M.マネージメント

〒651-0068 兵庫県神戸市中央区旗幟通6丁目2番2号サンビルダ55ビル
TEL: 078 (231) 5550 FAX: 078 (231) 1200
email: sun@sunbuilder.jp

「急募!神の働き人」 福音宣教のために共に労してください

「収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫の主に、収穫のために働き手を送ってくださるように祈りなさい。」(マタイ9:37-38)

路傍伝道ネットワーク

一般社団法人

日本全人治癒協会

ボディケア、心ケア、メンタルケア

〒169-0072 東京都新宿区大久保2-5-1 スプリム大久保ビル6F
TEL 03-6302-1016 FAX 03-6302-1017

路傍伝道ネットワークの奉仕

私たちの路傍伝道は、「多様性」と「統一性」を大切にする「総合伝道」です。以下の5つのチームに分かれます。

1.賛美チーム

音楽を通して神の愛を表現し、聴衆を神ご自身に向けさせます。清潔であることを心がけてください。

①「賛美リード」②「アシスト・クワイヤー」③「楽器奏楽」④「踊り」等で構成されます。

2.チラシ配布チーム

チラシ配布は、愛する心で行ってください。謙遜かつ、人々を悪魔の火の中から救い出す決死の思いで配布します。

3.説教者

説教者は、ストレートに聖書の御言葉と福音を語ります。

4.とりなしの祈り

とりなしの祈りは、イスラエル軍がアマレク軍と戦争をした時に、アロンとフルがモーセの両腕を支えて戦いを援護したように、祈りによって伝道の援護をします。

5.ディレクター

ディレクターは、広く全体に目を配り、適切な判断をし、指示を出し、対応をします。「音響」「プロデューサー」「舞台監督」「カメラマン」などを兼任します。

最後に

①「無理をしない」

参加者の中で、持病や障がいを持っている人、妊娠中や体調が優れない人、疲れている人は、差し支えない範囲で、世話人の菅野か濱村に伝えてください。無理してがんばる必要はありません。

②「見られている意識を持つ」

全員が「ステージに立っている」意識を持ってください。人は上辺を見ますので、印象の良い服装を心がけてください。また神様も、古の聖徒たちも注目しています。サタンは隙を狙っています。神の栄光があらわされることを祈り、口論やトラブルを避けてください。問題が起こっても、一人で解決しないで大丈夫です。仲間に助けを求めてください。

③「チームプレーをお願いします」

路傍伝道ネットワークは、自由かつ、フラットな関係で伝道しますが、神の軍隊です。一致を心がけてください。

『路傍伝道ネットワーク』のビジョン

路傍伝道ネットワークは、2017年3月13日に原宿駅からスタートし、山手線外回り29駅(3月14日以降は30駅)を順番に伝道しています。また、日本全国47都道府県を少しずつ巡回路傍伝道をしなが、日本全国に福音を満たしていきます。同時進行で、賜物発掘や賛美チームのスキルアップ、メンバーの一致と霊的成長のために、月に一回賛美集会を行なっています。また、山手線を東京のエリコの壁に見立てながら、電車の中で祈禱会を行なって、日本の中心である東京からリバイバルが始まって行くように夢見ています。(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、賛美集会と山手線祈禱会は休止中です)

『路傍伝道ネットワーク』の始まりの経緯

2016年9月に菅野代表が大阪の仲間たちと路傍伝道を始めた事がきっかけで、日本全国での路傍伝道を示され、JSE(Japan Street Evangelism Ministry)を結成しました。その後東京各地で伝道をする間に、少しずつ仲間が加えられ、菅野直基代表とその仲間たちにより「路傍伝道ネットワーク」が結成されました。今では、日本全国に多くの仲間が与えられて、共に力を合わせて路傍伝道を行っています。

不動産コンサルティングオフィス
売買・仲介・賃貸・管理・コンサルティング業務

地生開発 株式会社

東京都知事免許(13)21904号

〒165-0027 東京都中野区野方1-48-5 グリーンコート中野310 大塚愛子/大塚祐子
TEL: 03-5380-2751 FAX: 03-5380-2752 URL: http://chiseikaihatsu.com Email: newlife@wish.ocn.ne.jp

出前牧師 カンちゃん
新宿福徳教会牧師 菅野直基

冠婚葬祭司式・説教・音楽奉仕

新宿区北新宿3-8-4 シャローム北新宿ビル2F
TEL&FAX 03-3371-9930
Email: sgr_ch@yahoo.co.jp URL: https://sgr-ch.net

路傍伝道新聞の定期購読者と、10部～50部単位でまとめて受け取って、棚に置いてくださったり、配布して下さる教会や諸団体を募集しています。購読料・送料は無料です。

ライブプランナー
下田 大気
Hiroki Shimoda

株式会社BBEコンサルティング

〒160-0022 東京都新宿区新宿2-13-10 エルハイム新宿707号
TEL 03-6674-2636 FAX 03-6685-9263 Mobile 090-8011-1000
Email prio_cocoo1000@yahoo.co.jp URL https://bbe.tokyo